

平成 26 年 7 月 16 日

那須塩原市におけるメガソーラー事業に対する融資 (プロジェクトファイナンス) について

足利銀行(頭取 松下 正直)は、このたび那須塩原市におけるメガソーラー事業に対するプロジェクトファイナンス(主幹事:株式会社新生銀行)に参加しましたのでお知らせいたします。

本事業は、再生可能エネルギー事業を展開する株式会社レノバ(本社 東京都千代田区、代表取締役社長 木南 陽介)他1社が共同事業にて、平成27年9月の運転開始を目指し実施するものです。那須塩原市内の民有林を活用し、建設する発電設備は出力約24.8メガワット、想定年間発電量は約2,610万キロワット時となり、一般家庭の約7,000世帯の年間使用電気量に相当します。

当行では、地球温暖化やエネルギー問題などを踏まえ、再生可能エネルギー事業を積極的に支援する観点から、これまでもメガソーラー事業に対するプロジェクトファイナンスへ参加していますが、栃木県内の事業に当行が参加するのは、今回が初めてとなります。

当行は、今後も引き続き、再生可能エネルギー事業に取り組む事業者の皆さまを資金面から支援し、地域経済の持続的な成長と地域の環境保全に貢献してまいります。

記

【事業の概要】

発電所名	那須塩原ソーラー発電所
所在地	那須塩原市横林字新街道136番地 ほか
最大出力	約24.8メガワット
事業主体	合同会社那須塩原ソーラー(SPC)
スポンサー	株式会社レノバほか1社
運転開始予定	平成27年9月

※プロジェクトファイナンス

特定の企業の信用力や担保価値に依存せず、独立した特別目的会社(SPC)を設立し、当該事業から生み出される収益及びキャッシュフローを返済原資とするファイナンス手法

以上